

2011年9月3日(土)開催 | ケータイ活用教育研究会

第21回ケータイ活用教育研究会

開催レポートはこちら

URL:<https://keitai.chiegumi.jp/com/SeminarReport.php?ct=6490005145&cs=25#report>

開催日	2011年9月3日(土) 13:00~17:30
学習テーマ	第21回ケータイ活用教育研究会
学習目標	携帯電話, スマートフォン, タブレット端末などのモバイル機器を教育・研究および大学における様々な業務支援に用いている事例が報告され, その将来・可能性について, 参加者で検討します。
会場	信州大学 松本キャンパス(最寄駅:JR 松本駅) 全学教育機構北校舎 211 番教室
参加費	無料(懇親会は実費)
参加対象者	ケータイ、スマートフォン、タブレットを利用した教育を行おうとしている方 または、学校事務の効率化のために活用しようとしている方
開催概要	※以下は予定となります。 13:00 開場 13:00-17:30 話題1)「iPad2による在宅診療情報共有システム」 滝澤正臣氏(信州大学医学部附属病院) 【概要】 1986年、チェルノブイリ原子力発電所の事故で発生した子どもの悪性腫瘍の内、ベラルーシ共和国内の骨髄性白血病診療の国際遠隔支援(1987-2004)が成功し遠隔医療の必要性が認められた。このことから、信州大学医学部附属病院では国内での在宅の障がい児の遠隔ケアに関する技術開発を行うこととなった。

この開発は総務省広域連携事業の支援で行われたもので、iPad2 を利用したチームケアにより病院外における各種診療情報を医師、看護師、患者が共有して、在宅療養においてもより良い療育支援環境を作ることを目指している。

話題2)「オンラインテストの作り方」

鈴木治郎氏(信州大学全学教育機構)

【概要】

毎週の授業の復習支援に焦点を当てた、択一または正誤方式による自動採点可能なオンラインテストの作り方への一案を紹介する。

話題3)「モバイル端末を利用した遠隔講義における教育の質保証」

矢部正之氏(信州大学高等教育研究センター)

【概要】

高等教育コンソーシアム信州や信州大学内で実施されている遠隔授業において、モバイル端末を利用して学生の参加意識を高め、学習効果を向上させることにより、教育の質を保証しようという試みを紹介する。

※発表の順番は入れ替わる可能性があります。

- ・ケータイ活用教育に関するディスカッション
- ・今後の活動について

18:00—

懇親会(実費)